

～中消防署から建物関係者の方へのお知らせ～ 台風時の自動火災報知設備の誤作動について

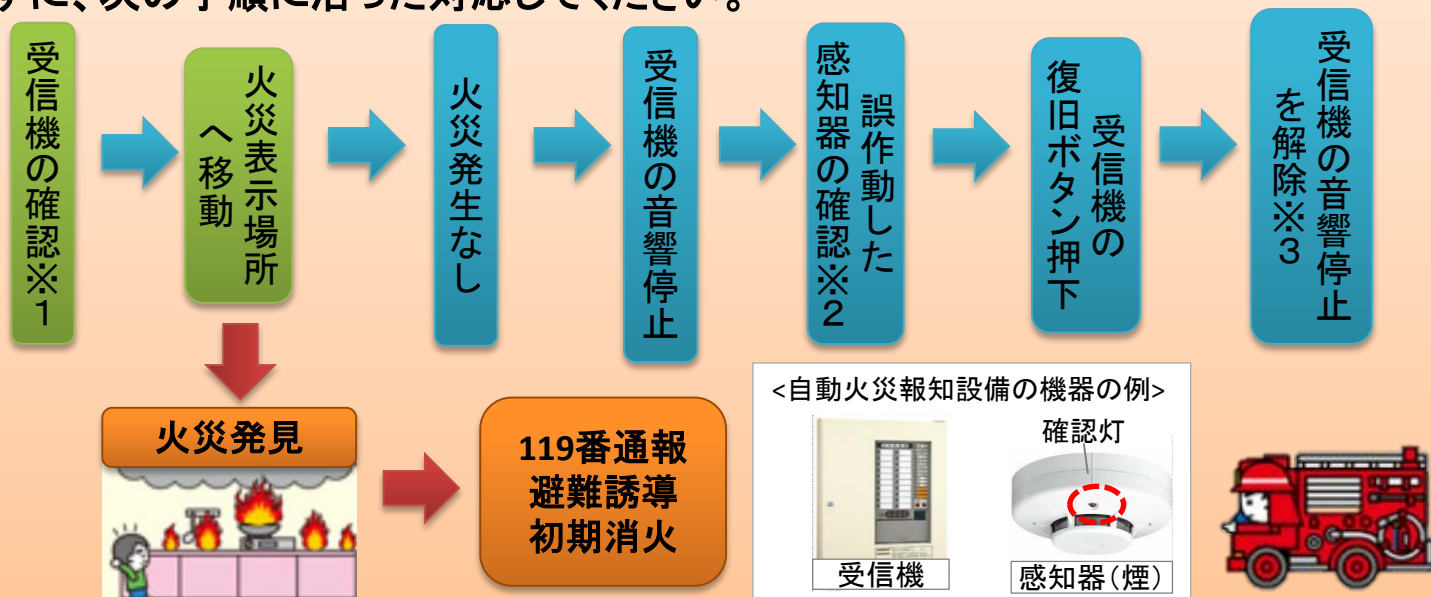


台風により急激な気圧低下が起こると、自動火災報知設備の誤作動が発生することがあります。自動火災報知設備が作動した際には、次のとおり状況をご確認いただき、適切にご対応いただきますようお願いいたします。

なお、火災ではなく誤作動による警報音の停止については、建物の管理者等に対応を依頼してください。

自動火災報知設備が作動した際の手順

自動火災報知設備が作動し、非常ベル等の音響設備が作動した場合は、慌てずに、次の手順に沿った対応してください。



※1 受信機を確認する際は、点灯している地区表示と警戒区域一覧により、火災場所を確認してください。

※2 誤作動した感知器は、確認灯が点灯しています。

※3 **音響停止を解除しないと、火災を感知しても音が鳴らないため、ご注意ください。**

自動火災報知設備の誤作動について

自動火災報知設備は、火災以外の要因によって誤作動を起こすことがあります。火災が発生していないにもかかわらず自動火災報知設備が作動した場合には、次のような事例が起きていないかを確認してください。

<誤作動の主な事例>

- ・台風等で急激な気圧の低下が起きる。
- ・調理の熱やゆげ、ほこりや虫などに反応。
- ・外気温等の温度差により感知器内部に結露が発生。
- ・暖房機器等により温度、湿度が急激に変化する。



誤作動が起こった際は、その原因を確認してください。また、何度も同じ感知器が誤作動を繰り返すような場合や誤作動の原因が分からない場合には、直ちに消防設備士等に点検や修理を依頼してください。